

# 為せば成る

伊丹市立天王寺川中学校  
第1学年 学年通信  
令和6年6月19日発行  
No.8

## 林間生徒作文より

### 4組 O. Iさん

林間学校では、集団生活の中で自分の仕事や役割をきちんとすることが大切だと学びました。また、林間学校では時間を守れることができたので学校生活でも授業前は3分前着席がきちんとできるように頑張りたいと思いました。他にもイングランドの丘での班別活動で違う意見の人の話を聞いたりみんなで協力することの大切さを学びました。

たくさんの学びや気づきがあった中で私が特に印象に残ったのが1日目のキャンプファイヤーのときに火の神様やたくさんの先生たちが楽しいことをしてくれたことです。なぜ火の神様が来たのか不思議に思い、家に帰って調べてみると火は遠い昔から私たちに生きる喜びや勇気を与え、私たちの生命でもあると知りました。大きく燃える火がきれいで感動しました。

2日目の大縄大会では友達と協力することの大切さを学びました。私は大縄や運動が苦手だけどクラスのかけ声で上手くできなくても頑張ってみようと思いました。4組は優勝や準優勝はどれなかったけれどクラスのみんなで声をかけ合いながら頑張ることができて楽しかったです。

その他にも帰る前のそうじのときに来た時よりもきれいにできるよう、同じ部屋の人達と協力し、自分の役割も考えて取り組むことができました。感謝の気持ちでそうじした部屋がきれいになって達成感がありました。これからの中学校生活でも友達と協力すること、自分で考えて行動すること、責任感を持って行動することを忘れずに取り組んでいこうと思いました。

友達の新たな一面を見て気づくこともたくさんありました。例えば時間があるときにしおりの振り返りを書いていたり周りの人が話していたときに声をかけたりしてすごいなと思いました。班行動のときに遅れている人のことを待ってみんな一緒に行動できるように気にかけている優しい一面もあって印象的でした。私は、人見知りで誰とでも話すのに時間がかかるけれど友達の良い所をまねして私も誰かのために行動できるようになろうと思いました。

中学生になって初めての校外学習ではじめはとても緊張したけれど想像以上にたくさんの学びや楽しい思い出ができました。まだ行事やみんなと協力する場面がたくさんあると思うので、そのときは友達の大切さや林間学校で学んだことを活かしていこうと思いました。



### 5組 T. Mさん

林間学校を通して、一番感じたのはクラスで協力することやクラスのきずなです。イングランドの丘の班別活動では、行く場所を相談したり、どこにあるかを皆でマップを見て考えたり、様々なミッションを皆で協力して解いたりすることができたので、班のきずなも深まったと思うし、たくさん協力できたかなと思いました。また、宿舎では、部屋の点検の時に皆で確認したり、部屋の皆さんで食堂やお風呂を探しながら、協力して向かったり、分からぬ事を聞き合ったりとたくさん協力してきずなを深められたと思いました。

クラスで協力することやクラスのきずなを一番感じられた場面は大縄大会です。男子が跳んでいるときは女子が応援、女子が跳んでいるときは男子が応援とたくさん応援ができていたのが良いなと思いました。また跳んでいるときに声をかけ合ったり、アドバイスし合っていたのが良いなと思いました。皆でたくさん協力した結果優勝することができてとてもうれしかったです。皆の合計で40回も跳ぶことができたのがとても感動しました。

班長としての仕事は大変だったけれど、意外と楽しみながら活動することができました。集合の時に私語をしてしまったり、バスや部屋で騒いでしまっていた気がするので、その反省を日々の学校生活に活かしていきたいなと思いました。反省とは反対に、林間学校で学んだことや協力することを学んだので、それも日々の学校生活に活かしていけたら良いなと思いました。

林間学校は終わったけど、まだ他の行事があると思うから、その行事等でまた協力したり、きずなを深めることができるんじゃないかなと思いました。今回優勝したけど、また大縄大会をしたいなと思いました。大縄大会は一番仲が深まると思うし、クラス皆で協力ができるから、次は50回跳ぶことを目標に頑張りたいなと思いました。

夏休みまでにがんばりたいことはテスト勉強です。期末テストがもうすぐあるから、テスト勉強を本格的にがんばりたいと思います。課題でなかなかテスト勉強までできないからもっと勉強する時間を増やしたいなと思いました。テスト勉強では計画的に行うことが大切だと思うので、計画を立てるのもがんばりたいなと思いました。

